

# 生分解性マルチ(コーンマルチII)の効果確認試験

JA新はこだて

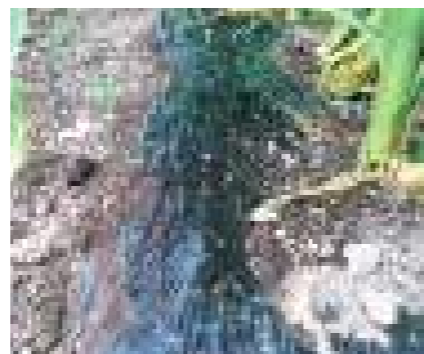
浅野 宏隆



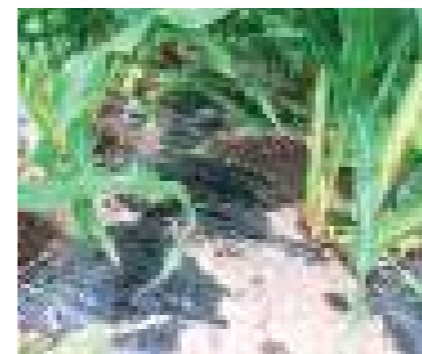
H28.7.14 コーンマルチII



H28.7.14 サンプラックマルチ



H28.7.14 コーンマルチII



H28.7.14 サンプラックマルチ

## 試験目的

生分解性マルチの現地適合性の確認

## 試験作物 及び品種

スイートコーン(めぐみゴールド)

## 試験資材 及び数量(規格)

コーンマルチII(135cm×400m) 黒 4本

## 慣行資材

サンプラックマルチ

## 栽培方法

播種日	収穫日
4月20日	7月末日
【栽植密度】 畝幅：60cm 株間：30cm 2列	

## 資材使用期間

4月20日～8月10日

## 試験区面積

540㎡

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

機械で展張する際、柔らかすぎて端がめくれることがあった。たわんで、風でばたつく感じがした。

マルチをつなぐ時のテープがくっつきづらかった。また、播種のためコの字に穴をあけるが、破れたところが内側に入らず外に出ている。それを内側に入れながら土をかぶせる作業が余計に発生した。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

生育は慣行品と差がなかった。

### (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【問題点】：上記の通り、作業性が慣行品に劣る。また、展張後にたわんでいる感じがしたため、その後収縮するのであれば、播種と穴あけの位置がずれる不安がある。(土をかぶせたため、欠株等はなかった。)

### (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

崩壊性については問題なかった。

慣行品よりも伸びがあるため、穴をあける時、通常よりも穴あけ機に引っ張られて、穴の形が長くなる感じがする。鋤き込み時に、サンプラックマルチよりもバラバラになった。分解が進んでいたためと思われるが、使用上の問題は無い。

### (5)促成・抑制効果について

防草効果は慣行品と差がなかった。

### (6)保温効果について

保温効果は慣行品と差がなかった。

### (7)雑草・病害虫の発生について

慣行品と差がなかった。

## モニター感想

サンプラックマルチの代替品として、生分解性マルチを検討しているが、コーンマルチIIに関しては、穴明け作業時に手間がかかるので、改良してほしい。

また、サンプラックマルチと価格差もあるため、もう少し安くなると使いやすくなる。

## JA担当者の感想(坂井 氏)

作業性については劣るものの、その他については慣行品と差がない評価を得られたので、良かった。

今後、試験を重ねながらサンプラックマルチの代替品を検討していきたい。また、価格帯について、より低コストになればさらに普及すると思う。

## 今後の使用について

改良して欲しい。  
穴あけ時の作業性。

1 高温対策

2 害虫忌避効果

3 調光フィルム

4 クリントート

5 機能性マルチ

6 育苗資材

7 不織布

8 その他